

令和 6年度予算見積調書

課室名: こども安全課

担当名: 養護担当

内線: 3331

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
S327	埼玉学園処遇費		一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉施設費	埼玉学園費		
事業期間	昭和23年度～	根拠法令	児童福祉法第35条、第44条、同法施行令第36条(義務)		針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	16	
					分野施策	0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsターゲット	16-2	
1 事業概要 不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境、その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、個々の児童に応じて必要な指導を行いその自立を支援する。 (1) 埼玉学園処遇費 102,943千円			5 事業説明 (1) 施設設置の目的 児童福祉法第44条に定める児童自立支援施設として、不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境、その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所又は通所させ、その自立を支援し、退所した者について相談、援助を行う。 (2) 事業内容 ア 生活指導 小舎夫婦制を採用しており、職員が児童と起居を共にしながら、家庭的な雰囲気のもと、児童の生活全般に関わるしつけ、情緒の安定、社会性の涵養等のため、個別指導及び集団指導を行う。 イ 学科指導 平成14年度から学園内に学校を設置し、施設職員と学校教員が協働して、少人数による指導、ティームティーチングや習熟度別学習の実施等、入所児童の特質を踏まえた教育を展開している。 ウ 職業指導 園内での農業指導や園外での職場実習を通じ、健全な職業生活を営むのに必要な態度、習慣等を習得させる。 エ その他 学園内外での、遠足、キャンプ、スキー訓練、各種スポーツ大会、体育祭、文化祭等を行う。 また、被虐待児の入所が増加しているため、嘱託の精神科医や心理専門員等が連携し、児童の精神的、心理的ケアを行う。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 国庫負担金対象分 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 単位費用算定あり 「第四節 厚生労働費」 「第二款 社会福祉費」 「2 児童福祉費」 「(2) 児童措置費」			(3) 効果 令和2年度 決算: 58,249千円 退所時の就職、進学、復学者の割合: 95.6% 令和3年度 決算: 68,648千円 退所時の就職、進学、復学者の割合: 90.5% 令和4年度 決算: 79,311千円 退所時の就職、進学、復学者の割合: 90.5%						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.15人=1,425千円			(4) 事業計画(目標値) 退園時の就職、進学、復学者数の割合 80.0% 退園者数 38人						
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金	分担金・負担金	諸収入					
決定額	102,943	46,457	1,401	8,046				47,039	1,254
前年額	101,689	45,693	1,401	7,809				46,786	

事業内訳書

事業名	埼玉学園処遇費		
単位事業名	埼玉学園処遇費	予算額	102,943千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
分担金及び負担金・ 児童福祉費負担金	1,401	0	入所児童保護者負担金 徴収基準に基づく費用徴収額
国庫支出金・ 児童福祉費負担金	46,457	764	児童措置費負担金 負担率：1/2
諸収入・ 児童福祉受託事業収入	5,147	63	児童福祉施設受託事業収入 さいたま市から
諸収入・ 実費弁償金	2,899	174	埼玉学園賄費戻入
一般財源	47,039	253	
合計	102,943	1,254	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	216	0	弁護士謝金、見舞金

単位事業名	埼玉学園処遇費	予算額	102,943千円
-------	---------	-----	-----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	1,187	0	普通旅費
需用費	68,439	882	消耗品費、燃料費、光熱水費、賄材料費
役務費	1,526	0	通信運搬費、手数料
委託料	94	0	公費負担医療審査手数料
使用料及び賃借料	5,723	0	自動車借上代、有料道路利用料、児童授業用パソコンリース料
扶助費	25,758	372	児童福祉法に基づく扶助費 100人分
合計	102,943	1,254	